# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日


上場会社名　椿本興業株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　8052　URL　http://www.tsubaki.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 椿本　哲也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員　(氏名) 春日部　博　TEL 06-4795-8806

四半期報告書提出予定日　平成23年8月5日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 16,004 | 14.0 | 129 | ― | 187 | ― | 57 | ― |
| 23年3月期第1四半期 | 14,039 | 11.4 | △146 | ― | △92 | ― | △80 | ― |

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　430百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△923百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第1四半期 | 1.77 | ― |
| 23年3月期第1四半期 | △2.49 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 43,015 | 12,095 | 27.9 |
| 23年3月期 | 43,701 | 11,827 | 26.9 |

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　12,013百万円　23年3月期　11,754百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | ― | 3.00 | ― | 5.00 | 8.00 |
| 24年3月期 | ― | | | | |
| 24年3月期(予想) | | 3.00 | ― | 5.00 | 8.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 40,000 | 12.1 | 550 | 55.3 | 650 | 51.7 | 350 | 248.3 | 10.87 |
| 通期 | 81,000 | 9.3 | 1,250 | 6.1 | 1,350 | 4.5 | 700 | 21.9 | 21.75 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期1Q | 32,489,845 株 | 23年3月期 | 32,489,845 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期1Q | 303,920 株 | 23年3月期 | 302,951 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期1Q | 32,186,357 株 | 23年3月期1Q | 32,192,365 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）追加情報 …… 9
５．補足情報 …… 10
受注、販売及び仕入の状況 …… 10

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間における我が国の経済は、中国をはじめとするアジア諸国の高い成長に牽引され概ね順調に推移いたしました。

しかしながら、東日本大震災の復興・復旧に向けた兆しが見られるものの、電力不足への懸念、原材料高傾向、円高の長期化、世界経済の停滞と先行き不透明な状況が続くものと思われます。

このような状況下において、当企業グループでは、原材料不足に起因する納期遅延のため、売上が納期通りに計上できないものが一部にあったため、前年同期に比べ約14%の増加にとどまったものの、受注面においては営業部門の国内外への積極的な営業展開により、前年同期に比べ約28%増加いたしました。

当第１四半期連結会計期間の業績は、

| | | |
|---|---|---|
| 売上高 | １６０億　４百万円 | （前年同期比　１１４．０%） |
| 営業利益 | １億２９百万円 | （前年同期　営業損失　１億４６百万円） |
| 経常利益 | １億８７百万円 | （　〃　経常損失　９２百万円） |
| 四半期純利益 | ５７百万円 | （　〃　四半期純損失　８０百万円） |

となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりです。

#### 動伝事業

当事業は、株式会社椿本チエイングループのパワトラ商品を中心として、国内外の動力伝動商品の全般を取り扱っており、その売上高は全体の約58%を占めております。

当第１四半期連結会計期間は、東日本大震災後のサプライチェーン復旧の見通しがつき、自動車部品関連を中心に増産に転じたことで、受注・売上共に順調に推移し、全体的には当事業の外部顧客への売上高は、93億53百万円となりました。

#### 設備装置事業

当事業は、株式会社椿本チエイングループのマテハン商品、当社独自のエンジニアリングによるツバコーシステム商品を中心に、産業分野全般にわたり搬送設備等の自動化・省力化商品を提供しており、その売上高は全体の約28%を占めております。

当第１四半期連結会計期間は、エネルギー関連、環境関連、医療・医薬関連、食品関連、自動車関連等の成長分野の業界を中心に営業展開を計り、震災復旧に向けた設備及びアジア圏を中心に海外案件が増え、受注高増加には寄与いたしましたが、売上については納期が当第２四半期以降となっており、当事業の外部顧客への売上高は、44億98百万円にとどまりました。

#### 産業資材事業

当事業は、不織布製品をはじめ合成樹脂原料及びその成型加工品、カルマーポンプ、新素材商品等幅広い商品を取り扱っている部門であり、その売上高は全体の約14%を占めております。

当第１四半期連結会計期間は、積極的な新規商品開発による営業展開で、国内外で安定した業績を収めております。当事業の外部顧客への売上高は、21億52百万円となりました。

### （２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第１四半期連結会計期間末の総資産は430億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億86百万円減少いたしました。流動資産は8億87百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が4億72百万円減少、受取手形及び売掛金が11億50百万円減少した一方、商品及び製品が1億89百万円増加、仕掛品が4億93百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、2億1百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価が前年度末に比べ上昇したことにより3億97万円増加したこと等によるものであります。

② 負債

当第１四半期連結会計期間末の負債合計は309億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億54百万円減少いたしました。流動負債は8億30百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が8億97百万円減少したこと等によるものであります。一方、固定負債は1億24百万円減少いたしました。

③ 純資産

当第１四半期連結会計期間末の純資産の部は120億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億68百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益を57百万円計上し、その他有価証券評価差額金が3億54百万円増加した一方、配当金の支払いを1億61百万円実施したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期第２四半期連結累計期間においては、東日本大震災による工業生産等の混乱が収束に向かう見込みから、概ね当企業グループの受注高・売上高は共に順調に推移するものと思われますが、収益面においては、電力不足に伴うコスト高、円高の進行による厳しい状況も予想されます。

当企業グループにおいては、更なる営業体制の強化による協調体制を整え、コスト管理の強化徹底、顧客密着営業展開により、目標達成に全力で取り組んでまいります。

連結業績予想につきましては、世界的な景気動向は予断を許さないものの、上記のように、国内の工業生産が正常に戻ると期待され、設備投資の増加も見込まれることから、平成23年５月12日公表の業績予想を据え置くことといたします。

（通期連結業績予想）

| | 連結売上高（百万円） | 連結営業利益（百万円） | 連結経常利益（百万円） | 連結当期純利益（百万円） |
|---|---|---|---|---|
| 通期 | 81,000 | 1,250 | 1,350 | 700 |

（第２四半期連結業績予想）

| | 連結売上高（百万円） | 連結営業利益（百万円） | 連結経常利益（百万円） | 連結四半期純利益（百万円） |
|---|---|---|---|---|
| 第２四半期（累計） | 40,000 | 550 | 650 | 350 |

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## ４．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成23年６月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,941 | 3,468 |
| 受取手形及び売掛金 | 26,706 | 25,556 |
| 商品及び製品 | 1,781 | 1,971 |
| 仕掛品 | 1,771 | 2,265 |
| 繰延税金資産 | 192 | 188 |
| その他 | 852 | 906 |
| 貸倒引当金 | △183 | △181 |
| 流動資産合計 | 35,062 | 34,175 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 571 | 570 |
| 無形固定資産 | 88 | 82 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,435 | 6,832 |
| その他 | 1,704 | 1,514 |
| 貸倒引当金 | △160 | △159 |
| 投資その他の資産合計 | 7,979 | 8,187 |
| 固定資産合計 | 8,639 | 8,840 |
| 資産合計 | 43,701 | 43,015 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 25,245 | 24,347 |
| 短期借入金 | 210 | 210 |
| 未払法人税等 | 636 | 72 |
| 役員賞与引当金 | 90 | ― |
| 前受金 | 1,619 | 2,291 |
| 繰延税金負債 | 7 | 6 |
| その他 | 274 | 326 |
| 流動負債合計 | 28,084 | 27,254 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,000 | 2,000 |
| 退職給付引当金 | 1,120 | 1,091 |
| 長期未払金 | 462 | 367 |
| 繰延税金負債 | 0 | 0 |
| その他 | 206 | 206 |
| 固定負債合計 | 3,790 | 3,665 |
| 負債合計 | 31,874 | 30,919 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成23年６月30日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,945 | 2,945 |
| 資本剰余金 | 1,805 | 1,805 |
| 利益剰余金 | 6,489 | 6,385 |
| 自己株式 | △82 | △82 |
| 株主資本合計 | 11,158 | 11,053 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 663 | 1,018 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | △67 | △59 |
| その他の包括利益累計額合計 | 596 | 960 |
| 少数株主持分 | 72 | 82 |
| 純資産合計 | 11,827 | 12,095 |
| 負債純資産合計 | 43,701 | 43,015 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年６月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 14,039 | 16,004 |
| 売上原価 | 12,140 | 13,812 |
| 売上総利益 | 1,898 | 2,192 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,045 | 2,063 |
| 営業利益又は営業損失（△） | △146 | 129 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 55 | 64 |
| 持分法による投資利益 | 7 | － |
| その他 | 10 | 17 |
| 営業外収益合計 | 74 | 83 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8 | 7 |
| 売上割引 | 6 | 7 |
| 持分法による投資損失 | － | 7 |
| その他 | 5 | 3 |
| 営業外費用合計 | 20 | 25 |
| 経常利益又は経常損失（△） | △92 | 187 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | － |
| 貸倒引当金戻入額 | 36 | － |
| 特別利益合計 | 36 | － |
| 特別損失 | | |
| ゴルフ会員権評価損 | 4 | － |
| その他 | 0 | － |
| 特別損失合計 | 4 | － |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△） | △60 | 187 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 38 | 71 |
| 法人税等調整額 | △12 | 50 |
| 法人税等合計 | 26 | 122 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △86 | 64 |
| 少数株主利益又は少数株主損失（△） | △5 | 7 |
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | △80 | 57 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年６月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △86 | 64 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △833 | 355 |
| 繰延ヘッジ損益 | △8 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | 5 | 6 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △0 | 2 |
| その他の包括利益合計 | △837 | 365 |
| 四半期包括利益 | △923 | 430 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △917 | 420 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △6 | 9 |

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | 合計（百万円） | 調整額（百万円） | 四半期連結損益計算書計上額（百万円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 動伝事業（百万円） | 設備装置事業（百万円） | 産業資材事業（百万円） | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,192 | 2,922 | 1,924 | 14,039 | ― | 14,039 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 114 | 516 | 64 | 695 | △695 | ― |
| 計 | 9,307 | 3,438 | 1,989 | 14,735 | △695 | 14,039 |
| セグメント利益又は損失(△) | 173 | △247 | 70 | △3 | △143 | △146 |

（注）　各セグメントに属する主要な商品は下記のとおりであります。

| セグメント別 | 主要商品名 |
|---|---|
| 動伝事業 | ローラチェーン及び鎖車、タイミングチェーン及び歯付きベルト、各種搬送用チェーン、各種カップリング、各種電動機、制御機器、各種変減速機、電子機器、その他伝動機器 |
| 設備装置事業 | クリーンエネルギー関連設備、医薬・バイオ関連設備、化学機械装置、水処理装置、食品機械、その他環境装置、工作機械、鍛圧機械、産業用ロボット、各種コンベヤ、各種自動化装置、サイロ設備、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装置を含むＦＡシステム、建築請負工事 |
| 産業資材事業 | 各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | △3 |
| セグメント間取引消去 | 0 |
| 全社費用(注) | △142 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失(△) | △146 |

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | 合計（百万円） | 調整額（百万円） | 四半期連結損益計算書計上額（百万円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 動伝事業（百万円） | 設備装置事業（百万円） | 産業資材事業（百万円） | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,353 | 4,498 | 2,152 | 16,004 | ― | 16,004 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 218 | 363 | 149 | 731 | △731 | ― |
| 計 | 9,571 | 4,891 | 2,302 | 16,736 | △731 | 16,004 |
| セグメント利益又は損失(△) | 244 | △50 | 86 | 279 | △150 | 129 |

（注）　各セグメントに属する主要な商品は下記のとおりであります。

| セグメント別 | 主要商品名 |
|---|---|
| 動伝事業 | ローラチェーン及び鎖車、タイミングチェーン及び歯付きベルト、各種搬送用チェーン、各種カップリング、各種電動機、制御機器、各種変減速機、電子機器、その他伝動機器 |
| 設備装置事業 | クリーンエネルギー関連設備、医薬・バイオ関連設備、化学機械装置、水処理装置、食品機械、その他環境装置、工作機械、鍛圧機械、産業用ロボット、各種コンベヤ、各種自動化装置、サイロ設備、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装置を含むＦＡシステム、建築請負工事 |
| 産業資材事業 | 各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 279 |
| セグメント間取引消去 | △1 |
| 全社費用(注) | △148 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 129 |

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）追加情報

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

## ５．補足情報

### 受注、販売及び仕入の状況

#### (1) 受注実績

当第１四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 受注高(百万円) | 前年同四半期増減比(%) | 受注残高(百万円) | 前年同四半期増減比(%) |
|---|---|---|---|---|
| 動伝事業 | 11,062 | ＋5.2 | 5,877 | △4.5 |
| 設備装置事業 | 8,265 | ＋71.7 | 12,783 | △6.9 |
| 産業資材事業 | 2,579 | ＋19.7 | 1,372 | ＋40.5 |
| 調整額 | △1,054 | ― | △1,953 | ― |
| 合計 | 20,853 | ＋28.3 | 18,080 | △5.8 |

（注） 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 販売実績

当第１四半期連結会計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 販売高(百万円) | 前年同四半期増減比(%) |
|---|---|---|
| 動伝事業 | 9,571 | ＋2.8 |
| 設備装置事業 | 4,861 | ＋41.4 |
| 産業資材事業 | 2,302 | ＋15.7 |
| 調整額 | △731 | ― |
| 合計 | 16,004 | ＋14.0 |

（注） 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (3) 仕入実績

当第１四半期連結会計期間における仕入実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 仕入高(百万円) | 前年同四半期増減比(%) |
|---|---|---|
| 動伝事業 | 8,340 | ＋5.5 |
| 設備装置事業 | 4,869 | ＋39.1 |
| 産業資材事業 | 2,016 | ＋20.0 |
| 調整額 | △731 | ― |
| 合計 | 14,495 | ＋14.3 |

（注） 上記の金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。